



地域づくりシンポジウム2017

～バルセロナが語る観光地経営の最新課題と北海道の可能性～を開催

概要：北海道大学観光学高等研究センターは、公益財団法人はまなす財団及び地域の持続的発展を牽引する新たな観光協会のあり方に関する研究会とともに、12月7日（木）に「地域づくりシンポジウム2017～バルセロナが語る観光地経営の最新課題と北海道の可能性～」を開催します。

北海道大学では、観光先進国スペインのバルセロナ大学との連携促進に力を入れており、2014年の大学間協定締結以降、観光分野でも様々な取り組みを展開してきました。2017年2月には、バルセロナ大学ホテル・観光学院と、本学の国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院並びに観光学高等研究センターとの部局間連携協定を締結しており、今回のシンポジウムはバルセロナ大学ホテル・観光学院と観光学高等研究センターとの連携事業の一環として行うものです。なお、本学では、デスティネーション・マネジメント・オーガニゼーション（観光まちづくりを推進する組織：DMO）の中核人材である「デスティネーション・マネージャー」（商標登録済）の育成を目的とした履修証明プログラムを開講するなど当該分野の研究・教育に力を入れており、今回のシンポジウムもその一つとして位置づけています。

バルセロナ市は、年間3,200万人の観光客が訪れる観光都市であり、世界的に観光先進都市として知られています。都市計画や文化遺産マネジメント、観光地経営分野における学術研究の対象としても知られていますが、2017年3月には、住民の満足度を高めるまちづくりを標榜する必要性から「観光客の数を減らす」という方針を掲げるなど、実務の面でも世界的に注目されています。本シンポジウムは、そのようなバルセロナ市から、先進的な研究を展開する観光研究者と実務において観光戦略部門を統括する行政担当者を同時に招き、北海道のデスティネーション・マネジメントを論じるという非常に画期的なものです。

シンポジウムの概要：

名称：「地域づくりシンポジウム2017～バルセロナが語る観光地経営の最新課題と北海道の可能性～」

日時：2017年12月7日（木） 14：00～17：30（開場 13：30）

場所：ニューオータニイン札幌（札幌市中央区北2条西1丁目1-1）

主催：北海道大学観光学高等研究センター / 公益財団法人はまなす財団 / 地域の持続的発展を牽引する新たな観光協会のあり方に関する研究会

プログラム：

開会挨拶

北海道大学観光学高等研究センター センター長 西山 徳明

第1部 講演

基調講演Ⅰ「バルセロナ観光戦略2020 持続可能なデスティネーション・マネジメントに向けて」

バルセロナ市観光戦略部長 アルベルト・アリアス・サンズ 氏

基調講演Ⅱ「バルセロナにおける観光政策の課題：ジェントリフィケーションの視点から」

バルセロナ大学 教授 オリオル・アンゲラ・トレル 氏

第2部 パネルディスカッション

パネルディスカッション「バルセロナから北海道が学ぶこと」

- モデレータ：北海道大学観光学高等研究センター 准教授 石黒 侑介
- アドバイザー：バルセロナ大学 教授 オリオル・アンゲラ・トレル 氏
- パネラー：バルセロナ市観光戦略部長 アルベルト・アリアス・サンズ 氏
一般社団法人知床羅臼町観光協会 事務局長 池上 美穂 氏
一般財団法人丘のまちびえい活性化協会 事業係長 泉 剛生 氏
公益財団法人はまなす財団事業産業部 次長 小倉 龍生 氏

閉会挨拶 公益財団法人はまなす財団 専務理事 千葉 俊輔 氏

第3部 マッチングステージ（有料）

18：00～19：30 名刺交換会並びに情報交換会

申し込み方法：以下の URL からお申し込みください。

<https://www.hamanasu.or.jp>（公益財団法人はまなす財団ウェブサイト）

※本シンポジウムは、観光分野、特にDMOの関係者や行政担当者を主たる対象としていますが、メディア関係者のご取材や一般の方の参加にも広く対応する予定です。企画担当者（本学教員）や登壇者（バルセロナ大学及びバルセロナ市職員）への個別取材にもできるだけ柔軟に対応いたしますので、ご関心がございましたら下記問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

お問い合わせ先

北海道大学観光学高等研究センター 准教授 石黒 侑介（いしぐろ ゆうすけ）
学術研究員 三崎 圭美（みさき きよみ）

TEL：011-706-5410 FAX：011-706-5362

E-mail：ishiguro@cats.hokudai.ac.jp（石黒）， misaki@cats.hokudai.ac.jp（三崎）

地域づくりシンポジウム2017

～バルセロナが語る

観光地経営の最新課題と

北海道の可能性～



日時

2017年

12月7日(木)

14:00～17:30(開場13:30)

場所

ニューオータニイン
札幌(2階 鶴の間)

札幌市中央区北2条西1丁目1-1

JR 札幌駅より徒歩 8分

観光先進地バルセロナから行政ならびに研究者を招き、バルセロナが直面する観光地経営（デスティネーション・マネジメント）の課題とその解決に向けた施策を検証するとともに、インバウンド・ツーリズムの拡大や地域におけるDMOの役割など、北海道が抱える観光振興上の課題との共通項を探り、今後のデスティネーション・マネジメントのあり方を議論します。

基調講演



バルセロナ市観光戦略部長

アルベルト・アリアス・サンズ氏

「バルセロナ観光戦略 2020
持続可能なデスティネーション・
マネジメントに向けて」

プロフィール

バルセロナ自治大学地理学部を経て、2004年、オランダ・エラスムス大学にて博士号取得（都市マネジメント）。観光関連の研究機関、大学等を経て、2015年よりバルセロナ市の観光戦略 2020 統括責任者。



バルセロナ大学 教授

オリオル・アンゲラ・トレル氏

「バルセロナにおける観光政策の課題：
ジェントリフィケーションの視点から」

プロフィール

バルセロナ大学ホテル観光学院教授。専門は観光経済学。特に観光業とホスピタリティ産業界を対象とした応用経済学的研究を展開中。

定員

先着 150名

←お問い合わせ・お申し込みはこちら

シンポジウム：無料

マッチングステージ：有料 (3,000円)

お問い合わせ・お申し込み

【参加対象】観光に関する企業・団体、各支援機関、行政等

【問い合わせ先】公益財団法人はまなす財団 事業産業部
TEL：011-205-5011

【申込方法】はまなす財団申込フォームよりお申し込みください。
詳しくは、はまなす財団のホームページまで。

はまなす財団

検索

プログラム

主催者挨拶

14:00～14:10

北海道大学 観光学高等研究センター センター長

西山 徳明

第一部 講演

※スペイン語 - 日本語の逐次通訳で行います。

14:10～15:20

基調講演 I

「バルセロナ観光戦略 2020

持続可能なデスティネーション・マネジメントに向けて」

バルセロナ市観光戦略部長

アルベルト・アリアス・サンズ 氏

15:20～16:10

基調講演 II

「バルセロナにおける観光政策の課題：

ジェントリフィケーションの視点から」

バルセロナ大学 教授

オリオル・アンゲラ・トレル 氏

第二部 パネルディスカッション

16:10～17:30

「バルセロナから北海道が学ぶこと」

○パネラー：

バルセロナ市観光戦略部長

アルベルト・アリアス・サンズ 氏

一般社団法人知床羅臼町観光協会 事務局長

池上 美穂 氏

一般財団法人丘のまちびえい活性化協会 事業係長

泉 剛生 氏

公益財団法人はまなす財団 事業産業部 次長

小倉 龍生

○アドバイザー：バルセロナ大学 教授

オリオル・アンゲラ・トレル 氏

○モデレーター：北海道大学 観光学高等研究センター 准教授

石黒 侑介

閉会挨拶 公益財団法人はまなす財団 専務理事 **千葉 俊輔**

第三部 マッチングステージ (有料)

18:00～19:30 名刺交換会ならびに情報交換会

